

しまなみだより

第14号 2020年4月発行



卒業研究報告会(12月23日)終了後の集合写真

卒業式となりました。4年生が、学生生活の経験を胸に刻み、それぞれが選んだ道で新しい状況の中でも逞しく乗り越え、活躍してくれることを祈っております。

今号では、令和元年度後期の学生生活の様子をお知らせします。

(看護学科広報係)

令和元年度 国際交流事業

「オーストラリア・キャンベラ大学短期研修」



看護学科提案事業として提携校であるキャンベラ大学(豪)から学生5名(内看護学生2名)と教員2名(内看護教員1名)が、12月1日～8日まで本学で短期研修を行いました。今回は学部共同プログラムとして開催し、歓迎のランチパーティから始まり、大学の施設見学、授業への参加、文化交流として茶道部によるお点前、互いの国や大学生活を紹介するプレゼン、お別れパーティ等を通して学生間の交流を深めました。看護の授業では、「日常生活援助方法論Ⅱ」の中の「包帯法」を看護1年生と一緒に行いました。研修生向けのプレゼンでは、昨年度キャンベラ大学で短期研修を行った看護4年生の2人が、理学療法学科の学生との協働で、日本の医療や看護について発表しました。お別れパーティでは、ダンス部による踊りや看護4年生有志による軽音楽もあり、最後の交流を楽しむことができました。看護学科では、学生がグローバルな学びができるように継続して応援していきたいと考えています。

(岡田麻里・日高陵好)



歓迎のランチパーティ



茶道部によるお点前



看護4年生によるプレゼン



看護の演習授業「包帯法」



お別れパーティ

1～4年生の授業紹介

1年生 解剖学(看護特論)

この科目は、1年前期の解剖学概論(解剖学を広く浅く学ぶ科目)をベースにして、看護学領域で特に必要となる心臓・血管系、肺や気管支などの呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系などについて、講義と演習形式でさらに深く学ぶ解剖学です。演習では、骨格標本を使って体表から臓器の位置を推定する方法や、タブレットに入れた3D解剖アプリを用いて臓器の立体的なイメージや臓器どうしの繋がり・位置関係について学びを深めます。これらの演習を通して、1年次には臓器の正常な構造や機能の理解を行い、2年次以降で学修する疾患とその治療への理解に繋がります。学生は2人1組または4人の班単位で演習を行います。機器の操作では助け合いながら、またお互いに知識を確認しあいながら、主体的に学びを進めています。

(津森登志子)



骨格標本を使って心音聴取位置を確認



3Dアプリで心臓の位置を確認

2年生 看護研究の基礎

この科目は、看護の現象を研究の対象とする際の特質と科学的な取り組みの可能性、研究の種類、研究の進め方、帰納的推論と演繹的推論、研究上の倫理的配慮、研究の実践に必要な文献検討等について学びます。2年生後期は、看護過程をまだ十分学修し終えていない段階です。しかし、研究の視点を早くから持つことで、その後の専門科目の演習や実習で感じるさまざまな疑問点をそのままにせず学修の展開へつなげることができます。また文献検索の実際に関しては情報処理室において演習形式で実施し、キーワード検索により興味ある分野から論文を1編抽出し、その文献をクリティカルに読むということを体験します。4年次の卒業研究へつなげることを目標にわかりやすく丁寧な説明を心掛けています。



情報処理室での文献検索演習の様子

4年次の卒業研究へつなげることを目標に
(笠置恵子)

3年生 慢性期看護実習

3年次後期科目の大部分は実習です。統合実習、急性期看護実習、慢性期看護実習、老年看護実習、母性看護実習を行います。慢性期看護実習(3週間)では、慢性病と共に生きる患者への看護について学修します。まず、透析療法やがん薬物療法などを行う外来部門での看護実践や多職種連携・協働を学び、在宅で療養生活を送る患者に必要な看護を考えます。その後、実習の場を病棟に移して治療を受ける慢性病患者を受持ち、今後の病や療養生活の行く末を予測し、患者が退院後も療養を続けるために必要な看護を実践します。病棟実習終了後は、グループ討議で各々の学びを共有したうえで共通性と相違性を見出し、慢性病と共に生きる患者への看護について考察を深めます。これらの学修体験を通して、看護観を涵養してほしいと考えています。

(黒田寿美恵・山田隆子・船橋眞子)



各々のグループの学びを発表しています



全体討議をすることで考察を深めます

4年生 チーム医療福祉演習

チーム医療福祉演習は、保健福祉学部の5学科の4年生全員が参加し、他職種と連携するチームアプローチのあり方と、それぞれの役割についてより認識を深めていきます。このような科目を開講している大学は少なく、本学の特徴的な授業といえます。

これまでに学んできた専門知識・技術や実習での経験をもとに、学科の枠を越えて小グループを編成し、事例検討を中心に演習を行っていきます。これを通して各専門職がどのように連携しチーム医療を支えるべきか、専門職としての役割は何かを考えるとともに患者・障害者のための保健医療のあり方を学修します。臨地実習を経てこの演習に臨んでいますので、教員の指示が無くとも学生自身が主体的な姿勢で、専門職として積極的に発言し活発な討議を繰り返します。そして、相互の専門性を認め、共通の専門用語を駆使して、一つのチームとして患者の希望に応えるために最善を尽くす方法や対応を導き出していました。この学びからチーム医療を支える看護専門職として成長することを期待しています。

(沖西紀代子)



それぞれの学科実習室や専門的な技術を紹介しています



倫理的ジレンマの事例についてディスカッションしています

大学祭

第25回浮城祭(大学祭)が令和元年11月19日(土)、20日(日)に行われました。両日も晴天に恵まれ、たくさんの方にご来場いただきました。

この日のために学生同士で集まってダンスの練習をしたり、飾りつけの準備を行ったりと、計画的に取り組んでいました。2年生は肉巻きおにぎり、4年生は肉まん・中華まんの模擬店を出店しました。メインステージでは、看護学科有志による一糸乱れぬ「ソーラン節」や、テレビアニメをモチーフにした「大学卒業を控えた小学校の同窓会の物語」の演劇が披露されました。

大学祭当日の学生は、普段とは違う一面を見せてくれます。大学祭を通して、企画し運営する力、仲間と協力する力、やり遂げる達成感を得たようです。大学生活での「思い出の1ページ」になっただろうな、と思います。

(三宅由希子)



4年生は卒業をテーマにした演劇を披露しました



2年生はソーラン節を披露しました



4年生の模擬店「肉まん・中華まん」



2年生の模擬店「肉巻きおにぎり」

OBガイダンス

3年次生を対象としたOBガイダンスは、国家試験対策や就職活動の進め方、社会人1年目の生活状況を卒業生から直接、話し聞くことができる機会として、毎年3月に開催しています。

今年は、新型コロナウイルスの集団発生予防のため、3年次生に直接話をしてもらう場を中止しビデオレターで伝えることになりました。卒業生の西本春香さん（広島県：保健師）、磯村彩香さん（県立広島病院：助産師）、長崎寿美さん（広島大学病院：看護師）の3名から、国家試験の勉強方法、進路決定までのプロセス、新社会人としての生活の様子などについてメッセージをいただきました。

3年次生は、卒業生の体験談から最終学年の過ごし方をイメージし、不安と期待のなかで将来に向けての準備に入ることでしょう。教員一同それぞれの夢と希望に向けて、頑張る姿を応援します。

（岡田淳子・青井聡美）



サークル紹介

サッカーサークル



サッカーサークルは65人が所属し、先輩後輩関係なく活動する、とても仲の良いサークルです。サッカー経験者も初心者も男子も女子も、みんなで楽しく活動しています！練習は、週2日（火曜日と木曜日）、体育館やグラウンドで行っています。試合は、男子の方が多く、女子は年に1回程度です。長期休業には、キャンプやスノーボード、運動会などのイベントもたくさんあるので、とても楽しいです！

（2年生 越智萌樹）



県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

教員の紹介

基礎看護学

池田ひろみ



基礎看護学の池田ひろみです。バイタルサイン測定、清潔援助、与薬に関する看護技術などの講義や演習を担当しています。

教員になる前は、大学病院の看護師として、混合病棟に勤務していました。周手術期の患者さんや血液疾患の患者さん、がん患者さんなど様々な疾患の患者さんと関わってきました。また、同じ病棟の先輩看護師からも患者さんとの向き合い方や接し方など多くのことを学びました。臨床での看護師としての経験を生かして、対象者の負担を最小限にするためにはどうしたらよいか、セルフケアを促進させるためにはどうしたらよいか、などを考えながら、よりよい看護実践ができるように学生の皆さんをサポートしていきたいと思っています。



演習の様子

看護学科「学生生活通信」についてご意見、ご感想などお寄せ下さい。

〒723-0053 広島県三原市学園町1-1
TEL: 0848-60-1120 (代表) FAX: 0848-60-1134 (代表)
E-mail: nskouhou@pu-hiroshima.ac.jp
URL: <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/nursinq/>
発行: 県立広島大学保健福祉学部看護学科 広報係



県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

